

子育て支援情報 リサイクル品情報掲示板

環境防災課 ☎84-0314

子育て期は、何かと必要な物が多いですが、子どもの成長とともに不用になる物があります。また、少しの期間しか使わない物は、リサイクル品を活用したいと思う方もいると思います。この掲示板は、不用になった物を再利用していただくための情報交換の場です。ぜひご活用ください。

設置場所 役場1階、町民センター2階、HP

注意事項など この掲示板への情報登録は、子ども用品に限ったものではありません。町は不用品の情報を提供するのみで、交渉などは必ず本人同士で行っていただきます。物品の受け渡しなどについては、当事者間の責任において行なってください。また、不用品(受け渡し後も含む)に関する故障、苦情などの問題が発生した場合は、当事者間で協議の上、解決してください。町では一切関与しませんのでご注意ください。



図書室だより〈2月〉

町民センター3階

※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

ゆきのひのいえで

まるやま あやこ 著

まなのおかあさんは、いもうとのちいちゃんのせわで、このごろとってもいそがしそうです。まなはしかたなく、ひとりであそんでいたのに、うっかりちいちゃんをなかせて、おこられてしまいました。

「おかあさんは、いつもちいちゃんばかり…」とおこったまなは、いえですることにきめました。

そとにはゆきがふっています。おかあさんは、まなのてがみにきがついて、むかえにきてくれるのでしょうか。



みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「ゆらゆらおひなさま」をつくります

日時 2月21日(土) 10:00～

持ち物 はさみ、カラーペン

対象 5歳～(未就学児は保護者同伴)

場所 町民センター2階 小会議室A

申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

生き生きレポート

開成南小学校 ☎83-2250

楽しみが増えたね

1年生の生活科の学習で、新しく出来た公園に遊びに行ってきました。この日の朝は冷え込みが厳しく、公園に着くなり、「見て、霜柱があるよ。冷たい」「こんな形の霜柱もあるよ」と、冬を肌で感じているようでした。公園がいつまでもきれいであるように、「大切に使わなくちゃ」ということにも気がきました。楽しみがまた一つ増えました。



竜崎公園で遊ぶ1年生児童

【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30

土・日曜日 10:00～17:00

祝日 11日 10:00～17:00

【休 室 日】毎週月曜日

新しく購入した図書(主なもの)

● 一般書 ●

・インドクリスタル

・世界で最初の音

・悲恋 日野富士異聞

・峠しぐれ

・あなたは、誰かの大切な人

・晩鐘

・ありふれた祈り

ウィリアム・ケント・クルーガー

● 児童書 ●

・影なし山のりん

・いつでもしろくま

・トロールとにひきのいたずらこやぎ

・へのかっぱ

・どうするジョージ!

クリス・ホートン

篠田節子

白川道

鳥越碧

葉室麟

原田マハ

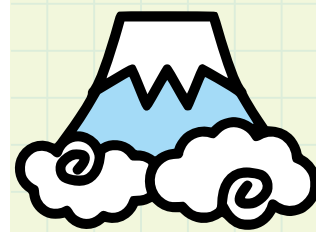
佐藤愛子

宇佐美敬子

斉藤洋

松居スーザン

飯野和好



開成町と富士山

(その11)

富士山が世界文化遺産に登録されたことに合わせて、「開成町と富士山」シリーズを連載しています。おたのしみください。

教育総務課 ☎82-5221

開成町の特産品・いちごは富士山と深い関わりがありました。昭和六(一九三一)年寒川から福羽いちご苗を購入し、辻村常明氏ほか二〇名により栽培されたのが町のいちご栽培の始まりといわれています。当時は酒匂川の玉石の輻射熱を利用した「石垣栽培」で作られていました。

昭和三十一年(一九五六)年、小田原・開成地区の連合会(露木甚造会長)が結成され、出荷も自動車輸送になりました。昭和四〇年ビニールハウス栽培が導入され、管理の省力化と品質・収量の向上が図られるようになり、質・収穫量ともに向上しました。更に出荷時期の調整を図るため、昭和四十六年から富士山麓周辺への高冷地促成育苗(山上げ)が始まります。四十五戸の賛同農家が、栽培の約半分の二十万株を山上げしました。農協の広報誌『農協あしがら(昭和



いちご苗の山上げ
(「農協あしがら」昭和47年9月10日発行より)

四十七年九月発行)』によると、「富士山麓標高一二〇〇メートル早期出荷をめざして八月二十二日午前四時、昨夜準備していた福羽いちごの苗の積み込みが始まった。苗は三台のトラックに、人は大型の貸し切りバスで。中略」午前七時、着いたところは、山梨県西八代郡上九一色村富士嶺。」とあります。大変な苦勞の中、より早く花芽をつけさせ、クリスマスの頃には立派な開成のいちごが東京の築地市場へ出荷されました。今では技術が進み山上げはされずに章姫等が栽培されています。

町の産業フェスタにも出店されていますので召し上がった方も多いことでしょう。

(文化財保護委員会 府川・島村) 参考文献『あしがら農協二十年の歩み』

*文 芸

開成俳句会 俳 句

借景に遠富士配す梅の里
福笑そつと目をあけ笑ひたる
手招きのおいでおいでの障子影
紅梅の澄みゆく空に咲き揃う
冬うらら遠富士眺むカフエテラス
晴天や富士の裾まで冴返る
梅が香や鉄扉は固く閉ざされて
佛像の伏し目穏やか梅日和
盆梅の今年も咲きて良き日なり
紅梅や僧の頭の見え隠れ

新井たか志 選

波多野すみ枝

有賀 孝子

瀬戸 悦子

下澤 操子

奥津らわき

遠藤マツエ

遠藤シヅ子

遠藤美津子

濱本 主雄

選者吟

新井たか志 選評

一月吟

明日のこと明日考へる 柚子湯かな

一年で最も量の短い冬至の日の風呂に柚子を浮かべ、体を温め無病息災を願う江戸時代よりある風習で冬至風呂とも言。日頃家事に忙しい主婦の実感句として賛同多く殿方に通じ、柚子の香る中で作者の小さな決意を感じ取れた心地よい生活句として讀えます。

ともしび短歌会 短 歌

戦中時飼育せる免食用に

小学五年の忘れ得ぬ秋

戦時中、軍馬・上野の象なども食糧難で棄殺されたと聞く。作者が小学五年の秋、帰宅したら、飼育中の兎が夕食の膳に上つていた。この件を機に、動物愛護の心は一生を貫く原点になったという。

近藤 正臣 選

石井はま江

冠雪の富士山眺め時忘るる

御胎内の湯に仲間と浸かりて

府川ハツエ

影長く引きつつ稲葉積む人を

今日も急かせる釣瓶落としは

諸星 末子

脱穀後の稲葉を忙しげに積む人々の様子を描写。「影長く引きつつ」と四句目によって、その時季と期限付きでの作業性が提示されており、その詠が結句で一気に判明。構成も良く洗練された秀歌。

※釣瓶落とし 釣瓶を井戸の中に落とす時のように、急速に落ちること。多く、秋の日の暮れやすいことのとえにいう。「秋の日は釣瓶落とし」。

十二月詠